

リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立松原小学校（愛知県）【協力校】

【取組内容】③B 総合的な学習の時間と家庭を繋ぐ個人探究

令和6年度 個人探究学習の実施に向けたお願いについて

日頃は本校の教育活動にご理解ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。
さて、今年度より、4年生以上の全学級で個人探究学習を行います。実施にあたり、お子さんがご家庭で制作や観察、発表の準備等に取り組むことがあるかと思ひます。下記のねらいや概要をご一読いただき、お子さんの学びを応援していただけたら幸いです。よろしくお願いし

1 ねらい

- 主体的に学ぶための力を育む機会とする。
 - 自己の興味や好奇心と向き合うことを通して、自己理解を深める機会とする。
- ※ 「うまく学び、うまく発表をすること」よりも、「迷いながらも自分自身の興味・関心と向き合うこと（自己理解）」を大切にしたいと考えています。

2 学習の概要

- 4年生以上の全学級で2学期以降に実施します。開始時期や終了時期は、学年によって異なります。学校での学習時間は15時間程度を予定しています。
- 自分で課題を設定し、課題解決に向けて調べたり観察や制作をしたりしながら学びを深め、最後はスライド（約10枚以内）を用いた発表を全員が行います。

個人探究学習の進め方

流れ	概要
①課題の設定	知りたいこと、できるようになりたいこと等を決めます 例：おいしいクッキーはどのようにしたら作れるのだろうか
②計画	どのように情報の収集や整理・分析をしていくか決めます
③情報の収集	課題を解決するための情報を集めます 例：書籍／インターネット／実験／観察／見学／質問／体験／制作等
④整理・分析	集めた情報を整理し、課題に対する自分なりの答えを見つけます 例：表／グラフ／図／年表／地図／思考ツールなどの図等
⑤まとめ	探究をして分かったことをGoogleスライドにまとめます ※発表時間等の関係で、スライド枚数には制限を設ける予定です
⑥発表会	学年ごとに報告会をします ※発表会の時期や方法は学年によって異なります

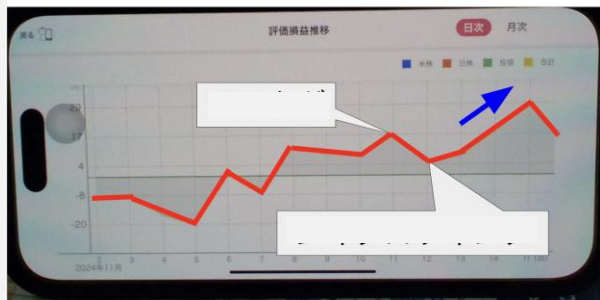


まとめの例 (Googleスライド)

体験

「投資」に関する探究をし、家族の協力を得て個別株式の運用を体験した児童

③実際に運用してみても



製作と撮影

「空気砲」に関する探究をし、家庭で空気砲を製作して威力を検証した児童

作った空気砲



家庭での個人探究の学習例

4年生以上の全学級で、総合的な学習の時間の枠組みで個人探究を実施している。児童が、自分で課題を設定し、計画を立てて学び、最終的に発表をするという学習活動である。しかし、学校だけでは、リソースに制約があることから、家庭へも文書や動画等で協力を依頼し、**実験、観察、製作、調理、見学、インタビュー**等は家庭で行うことを前提に実施した。大半の児童が家庭でも個人探究に取り組んだ。

家庭への個人探究協力依頼文書(上段)・動画(下段)